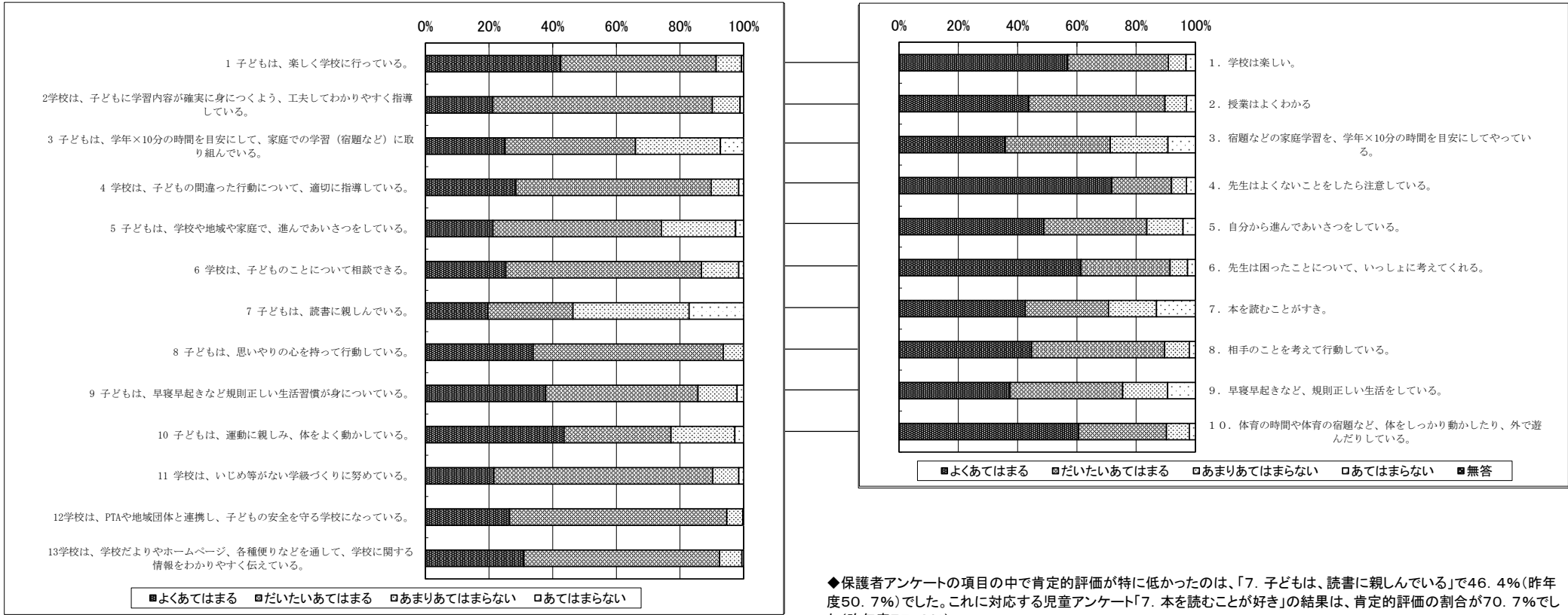


令和6年度 保護者・児童アンケート集計結果

昨年（令和5年度）の11月にはアンケートに協力頂きありがとうございました。アンケートの結果については、児童、保護者ともに「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的評価、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を否定的評価と捉えて結果についてまとめています。
 保護者アンケートの項目と対応する児童アンケートの項目には ―――― を結んでいます。



〔結果のまとめ〕

- ◆保護者アンケートの回収率は、73.6%でした。児童アンケートの回収率は98.7%でした。
- ◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が最も高かったのは、「12. 学校は、PTAや地域団体と連携し、子どもの安全を守る学校になっている」で、94.7%（昨年度93.0%）でした。
- ◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が2番目に高かったのは、「8. 子どもは、思いやりの心を持って行動している」で93.6%（昨年度95.0%）でした。これに対する児童アンケート「8. 相手の気持ちを考えるなど、思いやりの心を持って行動している」の結果は、肯定的評価の割合が89.6%でした（昨年度92.7%）。
- ◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が3番目に高かったのは、「13. 学校は、学校だよりやホームページ、各種便りなどを通して、学校に関する情報をわかりやすく伝えている」で、92.4%（昨年度90.3%）でした。

- ◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価が特に低かったのは、「7. 子どもは、読書に親しんでいる」で46.4%（昨年度50.7%）でした。これに対応する児童アンケート「7. 本を読むことが好き」の結果は、肯定的評価の割合が70.7%でした（昨年度75.8%）。
- ◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価が2番目に低かったのは、「3. 子どもは、学年×10分の時間を目安にして、家庭での学習に取り組んでいる」で、66.0%（昨年度68.3%）でした。これに対応する児童アンケート「3. 宿題などの家庭学習を、学年×10分の時間を目安にしてやっている」の結果は、肯定的評価の割合が71.3%でした（昨年度73.0%）。
- ◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価が3番目に低かったのは、「5. 子どもは学校や地域や家庭で、進んであいさつをしている」で、74.2%（昨年度72.6%）でした。これに対応する児童アンケート「5. 自分から進んであいさつをしている」の結果は、肯定的評価の割合が83.6%でした（昨年度85.3%）。

本校では、学校運営協議会の熟議等を通し、地域学習を中核とした授業改善や生徒指導上の諸課題の未然防止教育の充実に取り組んできました。その中で、地域や保護者との連携を推進し、協力を得ながら安全・安心な学校づくりに努めています。これらの取り組みが、アンケート結果の肯定的評価の割合が高かった項目と関連していると考えています。
 肯定的評価が低かった項目や肯定的評価の割合が昨年度より低くなった項目については、児童・保護者・地域・教職員の思いを踏まえて検討し、学校の考え方や取り組みを周知しながら、指導・支援の充実を図りたいと考えています。

※保護者および児童アンケートの結果を活用した自己評価と改善策等につきましては、別紙「令和6年度 堅田小学校学校評価書」をご覧ください。